

はぐくむ
vol.74
2022年9月号

Topic

乳房再建 乳腺外科・形成外科

新任医師紹介

ピンクリボン & ママフェスタ
特別医療講演のご案内

• Take Free •

ご自由にお持ち帰り下さい

第16回ニャンコ先生の特別医療講演会

がんカテーテル治療について

● 入場料無料 ● 事前申込不要 ● 定員80名

講師：腫瘍内科・がんカテーテル治療センター
関明彦先生

日時：11月5日(土) 14:00～

場所：ニュー大阪ホテル淀の間

注意
事項

- ・当日熱がある場合や、マスク未着用の方のご入場はかたくお断りします。
- ・新型コロナウイルスの影響により、講演会が急遽延期または中止になる場合があります。
当日はホームページ等をご確認の上、ご来場ください。
- ・講演会へお越しの方は公共の交通機関をご利用ください。

「乳房再建」 ～ 乳がん患者様に寄

乳腺外科医と形成外科医の共同で

がん手術後の「一次再建」が可能に 乳腺外科部長 藤本 泰久



昔の乳がん治療では根治性を追求し、局所にあるがんを含めて乳房を広範囲に切除する手術法が主流でしたが、近年では根治性を損わずに乳房の整容性を重視したオンコプラスチックサージェリー（OPBS）という概念が定着し、乳がんの広がりに応じ、乳腺部分切除や乳房全切除後に「乳房再建」が行われるようになってきました。

乳房再建は手術によって失われた乳房を形成外科の医療技術により再建するものですが、時期的な分類として、乳がん手術と同時に実施する一次再建と、術後一定期間を経て行う二次再建の2つの方法があります。何れも乳腺外科医と形成外科医の共同で治療を進めることが

不可欠です。術式分類として、乳房全切除後、エキスパンダーと呼ばれる皮膚を伸ばす水袋を入れて、生理食塩水を注入し徐々に膨らまして行き、十分に皮膚が伸び切った段階でエキスパンダーを抜去して人工乳房（インプラント）に入れ替える治療法と、自家組織を用いた再建法があります。

当院では一昨年に小島正裕先生が形成外科部長として赴任し、乳がん手術を担当する私と小島先生との連携により、当院でワンステップでの一次再建が可能になりました。大学病院や乳がん専門病院等を除き、わが国では一次再建の出来る施設は限られており、当院はエキスパンダーの認定施設になっております。形成外科専門医の参加により、乳がん患者様はキズ跡が目立たない、できるだけ元の形に戻るよう再建する努力を行っております。エキスパンダーの挿入、人工乳房への入れ替えにかかる時間は何れも30分～1時間程で、患者様への身体への負担の少ない治療です。患者様には、前述しました生理食塩水の注入のため、月1回の通院治療を約3か月～半年程、継続していただきます。この治療は2013年から保険適用が実現したため、患者様の医療費負担も軽減されます。

私は乳がん専門医として早期発見・早期治療への啓発をライフワークとし、長年にわたりピンクリボン活動に取り組んできました。手術後に女性のシンボルとしての乳房を失い、悲しみに打ちひしがれる数多くの女性を見てきた中、術後の患者様の人生に思いを馳せると、当院でもようやく乳房全切除後の乳房再建が可能になったのは望外の喜びです。



新任医師紹介



放射線診断科
芝田豊通
(しばたとよみち)

平成10年卒
日本医学放射線学会
指導医・専門医

この夏から吹田徳洲会病院の放射線診断科で働くことになりました芝田豊通です。大阪出身で医師になってからは大阪、京都、神戸の病院で勤務してまいりました。吹田徳洲会病院ではCTやMRIなどの画像診断を担当させていただきます。画像読影を通じて院内の他の診療科や近隣の医療機関の診療への後方支援に尽力して参りますので、よろしくお願いいたします。



乳房再建は希望される 全ての方に適応があります

形成外科部長 小島 正裕

乳腺外科部長・藤本泰久先生が執刀される手術には、乳房再建術の有無に拘わらず、ほぼ全てにおいて助手として加わっています。

また乳癌切除後に引き続いて乳房再建を同時に行う時には、今度は私が代わって執刀し、藤本先生にご助力を頂いております。

当院の乳房温存術においては、乳腺外科により形態的変形を最小限に抑える工夫がなされており、且つ当科に於いては表面の手術痕(キズ跡)が出来ただけ目立たなくなるよう意匠を凝らして縫合しております。従って乳癌手術において、その根治度はもちろんのこと、密接な連携により切除するところから閉創に至るまで整容的にこだわって手術を行っております。当院の最新のデータでは、1年間における乳腺外科手術の内、約3割の方が乳房再建術を希望され施行しています。



乳房再建の術式には大きく二つの方法があり、一つはお腹や背中中の皮膚、脂肪、筋肉等の組織を胸に移植して乳房をつくる「自家組織による再建」と、もう一つは「人工物(シリコン・インプラント)による再建」があります。前者は人工物に比べて、身体的負担が大きいと入院期間が長くなり、自家組織を切り取った部位に傷が残ると言う短所がありますが、それを踏まえて自家組織を選択される方の主な理由としては、腹部の余った脂肪で乳房を再建して欲しい、人工物は違和感がある、などです。

また後者では身体的負担が少ない一方で、感染に弱い一面があり、仮に感染した場合に再建を一時的に断念しなければならない事があります。また乳癌の切除方法や治療方針、そして患者さんの乳房の形によっては人工物での再建が出来ない場合がありますが、入院期間が短く(術後約1週)早期に社会復帰が可能な事が多い事から、従って仕事が多忙な方や妊娠を考えている方が選択される事が多くなります。

私の旧師・坂東先生の著書に「乳房再建は心の再建」という本があります(残念ながら今は絶版です)。この書名の意味は、乳房再建はいわば心療外科的な治療の側面を持つと言うことですが、乳癌を罹患したことに加え、さらに手術で乳房切除したことによる乳房喪失感によるダブルショックに見舞われる方が多いため、乳房再建によりそれらの心理的負担を少しでも軽減したいと言う熱意が込められています。

実際に乳房再建を相談しに来られる方の多くは、乳癌に罹ったことで頭がいっぱいで、乳房再建は希望しているが術式の選択までは考えることが出来ない方が多く見られます。無理からぬ事ですがその様な時には、取りあえずエキスパンダーという人工の風船の様なものを留置しておいて、それを外来で徐々に膨らましていき、十分に膨らんだところでそのエキスパンダーを、後日手術によって自家組織もしくは人工物に入れ替えています。そうすることで喪失感の軽減が得られるかも知れず、またその入れ替えの手術までの期間を、どちらを選択するか落ち着いて考える時間として使う事が出来るからです。

乳房再建は希望される全ての方に適応があります。もちろん乳房再建を希望されない方も、理由は様々ですが多くいらっしゃるという事を最後に言及しておきましょう。

2022ピンクリボン & ママフェスタ

in 吹田徳洲会病院

日時 **10月29日(土) 10:00▶15:00** 場所 **地下1階講堂**

新型コロナウイルス感染防止のため、ご入場の際は、検温、マスク着用、手指消毒のご協力をお願いします。講堂内でのプログラムについては、密を避けるため定員を設けております。予めご了承ください。また、感染状況により中止になる場合がございますので、ホームページをご確認の上、ご来場ください。

第一部

- 10:00～11:00 ヴァイオリンとハープの演奏会
産婦人科医 杉並範子
- 11:00～12:00 講演「子宮頸がん予防の新しいワクチン シルガード9について」
講師 副院長 北田文則

第二部

- 13:00～14:00 講演「乳がんと乳房再建」 講師 乳腺外科部長 藤本泰久
講師 形成外科部長 小島正裕
- 14:00～15:00 ヒマラヤの風 “Himalayan Winds”
 Bansuri (ネパールの竹製横笛) 演奏 ラム・マハルジャン氏

出展予定ブース ※一部有料ブースもございます

(当日先着予約制)4Dエコー 助産師相談 妊婦沐浴体験
ハンドマッサージ、乳がんしこりタッチ体験等々

共催：吹田徳洲会病院
特定非営利活動法人ピンクリボン大阪
協力：森永乳業株式会社
近畿中央ヤクルト販売株式会社
大王製紙株式会社
持田ヘルスケア株式会社

MOA 美術館吹田市児童展

11月1日～16日

児童作品展における特別賞受賞者の作品を展示いたします。みずみずしい感性が表現された絵画およそ20点が、エントランスホールに登場する予定です。お楽しみに。

吹田徳洲会病院・吹田徳洲苑 SNS公式アカウントを開設

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムのアカウントを開設しました。
「吹田徳洲会病院」で検索



医療法人徳洲会
吹田徳洲会病院
06-6878-1110 (代表)



介護老人保健施設
吹田徳洲苑
06-6878-9100 (代表)



〒565-0814 大阪府吹田市千里丘西21-1
<https://www.suita.tokushukai.or.jp>